

藻類・表層はく離の専用除草剤!!

使用方法の動画は  
こちらから▼



# モゲトン® 粒剤

- モゲトン→初期剤の体系処理がおすすめです!
- 主剤の拡散を妨げるウキクサ・藻類を先に枯らしましょう!

## 初期剤 単用の場合

藻類が多いと、除草剤の  
拡散がブロックされます。



初期剤のみ、初期剤 A 処理 10 分経過

薬剤処理箇所 ※室内試験による



モゲトンは  
晴天日の朝に散布すると  
効果が早く現れます。

そこで

# モゲトン®

先にモゲトンで枯らした藻類の上  
を主剤が拡散していきます!



モゲトン処理 48 時間後、初期剤 A 処理 10 分経過

写真：社内試験資料

## ◆適用作物と使用方法(抜粋)

令和 3 年 2 月 末現在

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量 (10a 当り)	本剤の 使用回数	使用方法	A C N を 含む農薬の 総使用回数
移植水稻	ウキクサ類 藻類 (アオミドロ、アミミドロ)	ウキクサ類、藻類の 発生始～発生盛期 但し、収穫 45 日前まで	2 ~ 3 kg	3 回以内	湛水散布 又は 無人ヘリコプター による散布	3 回以内
	藻類 (アオミドロ、アミミドロ)	藻類・表層はく離の 発生時 但し、 収穫 45 日前まで	2 kg		水口施用	
	藻類による表層はく離		1 ~ 2 kg			
	ウリカワ	ウリカワの増殖初期 (2 ~ 4 葉期) 但し、 収穫 45 日前まで	3 ~ 4 kg		湛水散布 又は 無人ヘリコプター による散布	
	ヒルムシロ	ヒルムシロの発生始～ 増殖始 但し、 収穫 45 日前まで				

●使用前にはラベルをよく読んでください ●ラベルの記載以外に使用しないでください ●小児の手の届く所には置かないでください

## モゲトン粒剤効果確認試験

日 時：平成 26 年 3 月 24 日～ 25 日

天 候：快晴 気温 18～21℃(屋外)

場 所：埼玉県所沢市 アグロ カネショウ(株) 所沢事業所

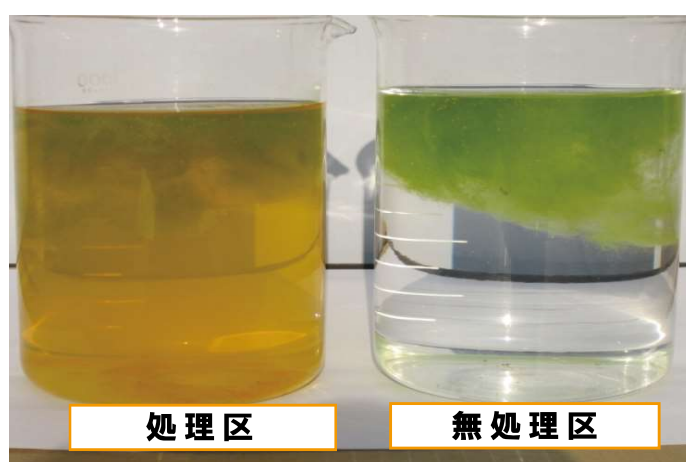
試験概要：1 l ビーカーに水を入れアオミドロを投入。

3kg/10a 相当量のモゲトン投入し、無処理区との比較をした。

### ① 処理直後



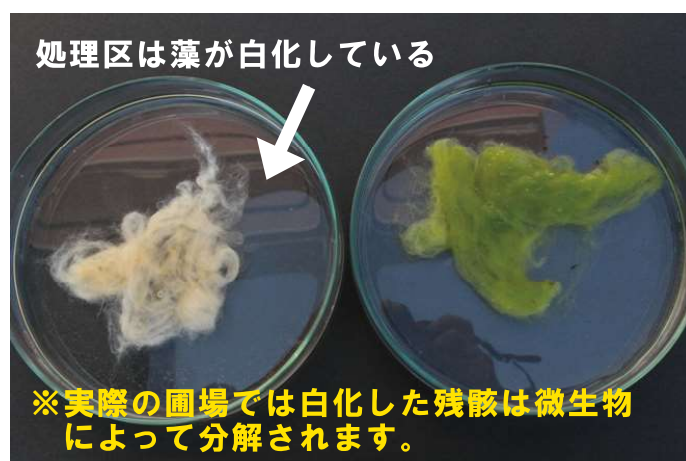
### ② 処理後 約 2.5 時間



### ③ 処理 1 日後



### ④ 処理 1 日後、藻を取り出し比較



考 察： 処理後、徐々に藻類の光合成を阻害する事により葉緑素が消失する。最終的に“白化した”繊維質（細胞壁）が残る。一方、無処理区はそのまま藻類が生育している事が確認出来る。処理区の白化した藻は最終的に微生物に分解され消失する。

※試験はビーカーの中での結果であり、実際の圃場とは枯れるスピードが異なる場合があります。